

## 【問題回答】

### 問1

カビの微生物の生育要素に、酸素、栄養分、適する温度・水(湿気)が挙げられる。カビの生育しやすい範囲外にすることでカビの生育を抑制することができる。

酸素は人が生きるためにも必要なもので、むしろ多くの換気量を確保することがカビの生育の抑制につながる。

栄養分は一般生活で発生する汚れがほとんどで、汚れを完璧になくすことは出来ない。

残りの生育要素が温度と水(湿度)で、温度 25°C、相対湿度 95%の条件が最も生育しやすい条件であると知られている。温度 25°Cは、人にも最も快適な温度範囲であり、カビを無くすために室内温度を極端な低温あるいは高温にすることはできない。

カビの生育しやすい相対湿度は約 95%であり、人に快適な範囲 (40~70%) を大きく超えた範囲である。よって、除湿することでカビの生育を抑制することが可能となる。

### 問2

71.0 mm

### 問3

雨水立て管の管径=50 mm

雨水横管の管径=75 mm

### 問4

揚水ポンプの揚水量=185.19 L/min

受水槽有効容量=15 m<sup>3</sup>

高置水槽有効容量=3 m<sup>3</sup>

全揚程 = 20+4.0+0.2=24.20 m

所要動力 = 1463.95 W

### 問5

配管の管径=50 A

管径 50 A とした場合の単位長さ当たりの圧力損失=0.40 kPa/m

管径 50 A とした場合の管内流速=1.26 m/s